

News Release

報道関係者各位

初の感染看護専門看護師が誕生 専門看護師 186 人 (9 分野)、認定看護管理者 312 人に

(社)日本看護協会(会長・久常節子)は11月1日に発表した「専門看護師」と「認定看護管理者」合格者に対し、実態調査を実施した。調査結果を速報する。

新たな認定は専門看護師47人(合格率81%)、認定看護管理者116人(合格率88%)。これにより専門看護師は186人(図1)、認定看護管理者は312人(図2)となり、昨年に比べ大幅に増加した。

専門看護師とは、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族および集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するため、特定の専門看護分野の知識や技術を深めた者に与えられる資格。臨床経験を5年以上(そのうち特定領域での経験が3年以上)有し、大学院での所定の教育を修了した後、1年以上の実務経験を経て、本会での認定審査に合格者しなければならない。役割には、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の6つがある。

図1 専門看護師数の年次推移

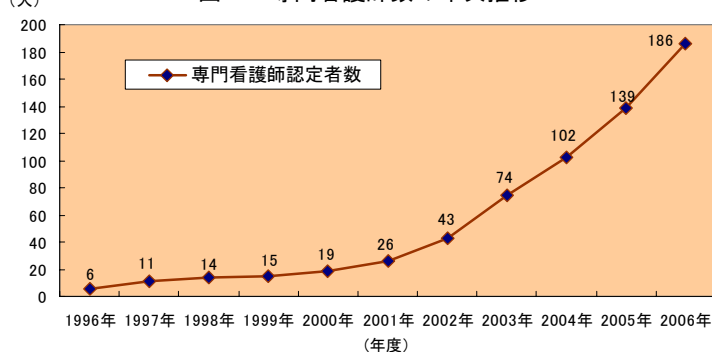


図2 認定看護管理者認定者数の年次推移

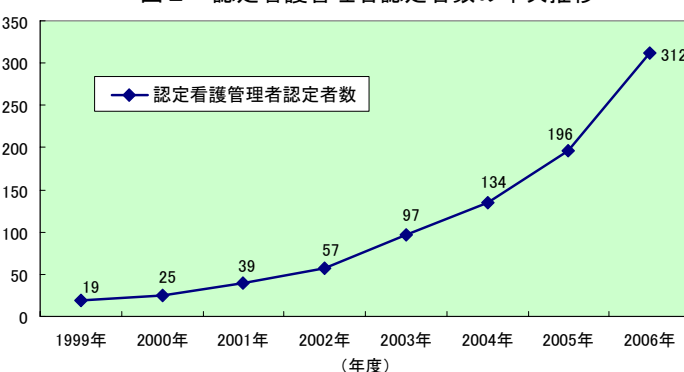
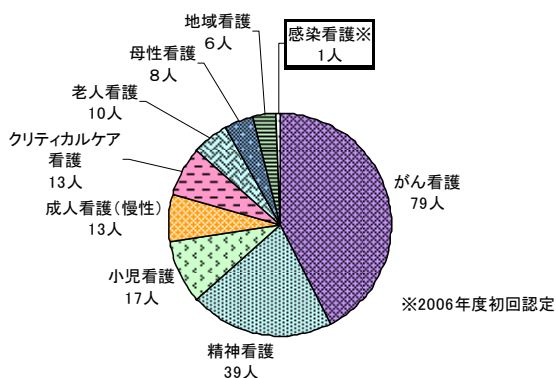


図3 専門看護師 分野別人数(n=186)



専門看護分野は現在、「がん看護」「精神看護」「地域看護」「老人看護」「小児看護」「母性看護」「成人看護(慢性)」「クリティカルケア看護」「感染看護」の9領域(図3)。

感染看護専門看護師が今年初めて誕生した。感染看護専門看護師は保健医療福祉施設、在宅や地域など幅広い看護活動の場で、個人や集団の特徴を把握して感染を予防し、発生時には適切に対応し、感染管理を行

う。また、感染しやすい状態や、複雑で困難な感染症などの問題を持つ対象者・家族のニーズに応え、高度な知識と的確な臨床判断、熟練した技術を用いて、倫理的態度に基づいた高度な看護実践を提供する。

新規に認定された専門看護師への調査結果から、多くの者が専門看護分野での活動時間を確保し、専門性の高い看護実践をしていることがうかがえる。2006年度に認定された専門看護師の職位は、「専門看護師としてのポジション」との回答が、昨年度より5%増の32%だった(図4)。また、専門看護分野での実践時間が40時間/週以上と回答した者は、昨年度より35%増の76%だった(図5)。

専門看護師らの活動範囲は所属施設をとどまらず、施設外へと拡大している(図6)。新規に認定された専門看護師47人中、資格取得後には25人(53.2%)が施設外(地域)へ活動範囲を拡大している。今後、施設内だけでなく、地域で活躍されることが大いに期待されている。

図4 2006年度専門看護師認定者
資格取得後の職位 (n=47)

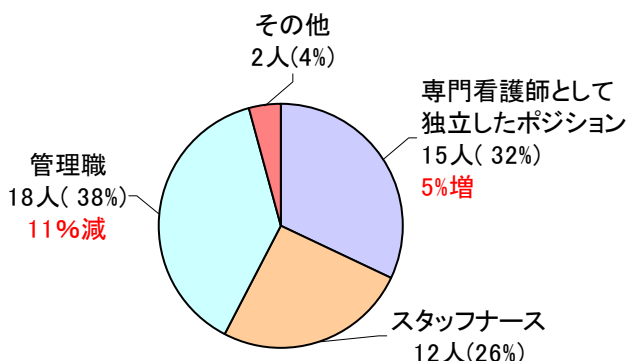


図5 2006年度専門看護師認定者
専門看護分野での実践時間 (n=47)

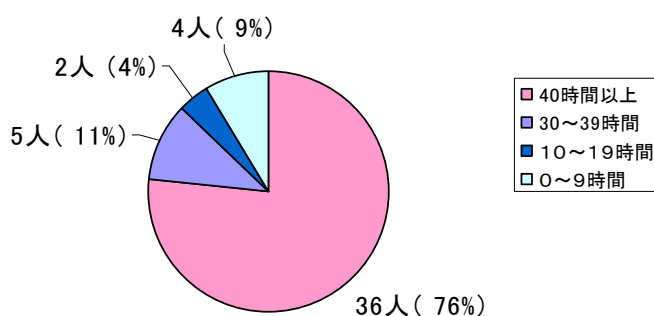
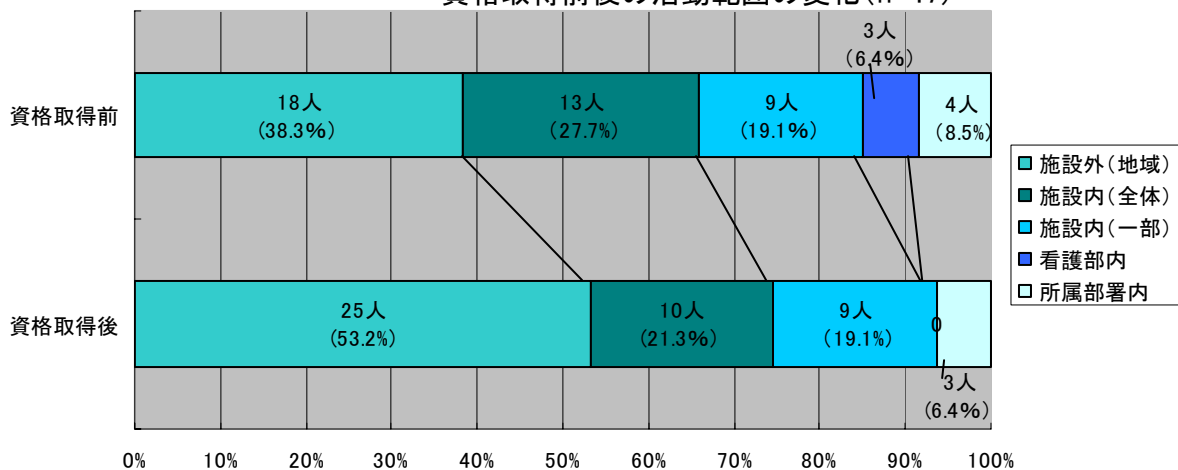


図6 2006年度専門看護師認定者
資格取得前後の活動範囲の変化 (n=47)



認定看護管理者は看護管理のエキスパート。多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族および地域住民に対して、一定の基準に基づいた質の高い組織的看護サービスの提供を目指している。

副看護部長以上で一定の研修を修了した者か、管理経験を有し看護管理学の修士号を修めた者、あるいは日本看護協会が定めた研修をすべて修了した者で、認定審査に合格したものに与えられる資格。現在、500床以上の医療施設485カ所中102カ所(21%)で認定看護管理者が活動している。

2003年から認定看護管理者数は大きく増加しているが、今年度の増加は、近年で最も顕著。医療環境の大きな変化の中で認定看護管理者の高い能力が必要とされており、今後も経年的な増加が見込まれる(図2)。

認定看護管理登録者の265人(全体の85%)が看護部長または副看護部長に相当する職位である(図7)。

今年度の新たな認定看護管理者116人の大半が今後取り組みたいと考えている活動は、「看護の質向上」や「病院経営への参画」(表1)。認定看護管理者は「市民や他職種の研修会等での講演」「施設外での看護管理者教育への協力」などの社会活動も積極的に行っている。また、訪問看護ステーションを立ち上げ、経営者として活動している者もあり、活躍の場は幅広い。

図7 認定看護管理者登録者の職位
(n=312)

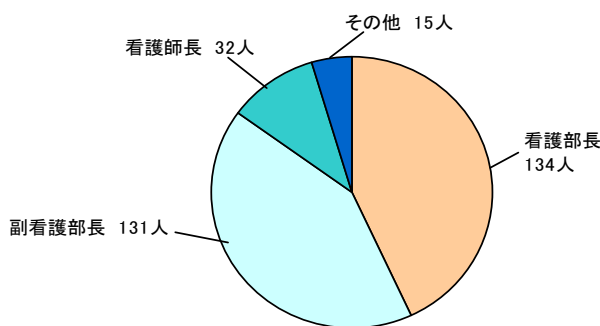


表1 今後、取り組みたいと考えている活動
N=116(複数回答)

項目	人数
看護の質向上	85
病院経営への参画	62
組織内での人材育成	58
組織改革	43
施設外での看護管理者教育への協力	34
地域医療連携の推進	33
安全対策の推進	21
その他	8

<お問合せ先>社団法人日本看護協会広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 <http://www.nurse.or.jp/>
TEL : 03-5778-8547 FAX : 03-5778-8478 Eメール koho@nurse.or.jp